

UC-win/Roadで作成されたデータの読み込み、シナリオに沿った運転シミュレーション

多くのユーザに導入しやすい形で、UC-win/Roadの運転シミュレーションを体験していただくことを目的とした製品です。自動車教習所や教育機関等での教材として、または展示会やセミナーにおける展示用として用いることを想定しています。

プログラムの機能と特長

■プログラム概要

自動車教習所や教育機関等での教材として、または展示会やセミナーにおける展示用を想定しています。本プログラムは、起動すると自動的にVR空間が読み込まれ、設定されたシナリオ(コース)を選択する画面が表示されます。コースを選択すると走行が開始されます。走行を終了すると、Ecoドライブの結果が表示され、その後、コース選択画面に戻る仕様となっています。UC-win/Roadの標準バージョン(シナリオプラグインが必須)でVR-Driveで走行できるコースの設定およびコースの説明の設定ができます。

VR-DriveはUC-win/Roadで作成されたデータを読み込んで、シナリオに沿って運転シミュレーションを行うことができます。また、ECOドライブプラグインを含んでいるので、CO2排出に関する評価を行うことができます。先進の技術を取り入れたジュニア向けドライブ教育パッケージです。3D・VR環境で、日常の運転シナリオから道路上での危険・予期せぬ出来事への対処にいたるまで体験できます。

■主な特長/機能

●ハードウェア

ハードウェアは、Logitech社のゲーム用ステアリングシステムと、必要なグラフィックカードを装着したPCをご用意いただければ操作可能です。

●カスタマイズ

VR-Driveは、3D環境と、交通安全の専門家とともに設計した運転シナリオで構成されます。3D環境の柔軟なカスタマイズが可能で、特定の運転時の事象を指定した通りに発生させることができます(別途見積もり)。

●インタラクティブな運転シナリオ

さまざまな条件下での運転シナリオ(歩行者、自転車、左折、右折、視界の悪い道路)を用意。運転のシナリオに対処しながら、現実に近い形で道路上での危険を経験できます。

●運転スキルのレポート

各運転シナリオ体験後にはレポートが作成されます。経験豊富なドライバーがこのレポートを参考に、適切なアドバイスを行うことが可能になります。

●エコドライブレポート

CO2排出量と燃料消費量のレポートを各ドライブ毎に作成。運転中に人の命を守ることに加えて、環境保護への貢献も学べます。

●視覚効果

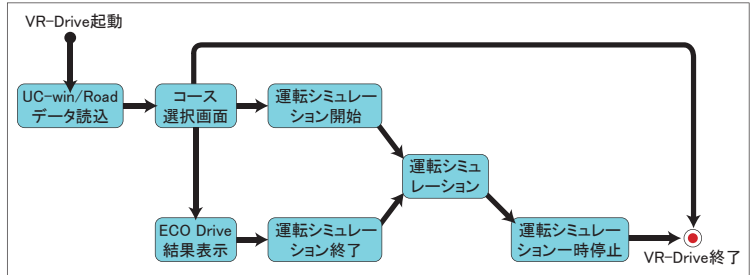
雨/雪などの天候の違い、昼/夜などの異なる時間といった、さまざまな環境でのドライブを経験できます。その他、風、洪水、火事、煙などの周囲の環境を設定することができます。

■製品起動から終了までの流れ

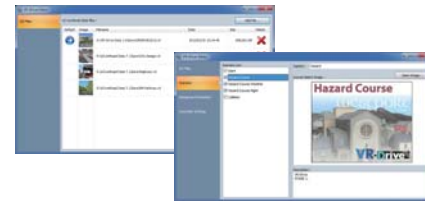
VR-Driveは最初にレジストリに設定されたUC-win/Roadデータを読み込むようになっています。読み込みが完了すると自動的にフルスクリーン表示となり、コース選択画面を表示します。あとは下記チャートのように動作します。運転シミュレーション中は画面右上の「PAUSE Menu」ボタンで運転シミュレーションを一時的に停止してポーズメニュー画面を表示します。「Continue」ボタンで運転シミュレーションに復帰し、「Close VR-Drive」ボタンでアプリケーションを終了します。

■制限事項

- ・データ作成はUC-win/Road Ver.6.1以降を使用して下さい。VR-Driveプラグインはそれ以前のバージョンに対応していません。
- ・コース数はU.I.の関係から5コースまでとして下さい。6コース以上定義している場合はコース選択画面でコースボタンがDescription表示領域まで突出します。次バージョン以降で6コース以上の場合にはスクロールする等のU.I.対応を行う予定です。



▲コース選択画面



▲ステアリングシステム

ラージスケール・マルチVRソフトウェア

大規模プロジェクトのサポート、表、オブジェクトを介したCADスタイルのユーザインターフェース、マルチユーザ編集、マルチスレッドに対応したパフォーマンスの改善、セクション機能の変更など多彩な機能を搭載しています。

プログラム価格: ¥1,200,000.

(Advanced): ¥1,600,000.

保守契約・レンタル価格: P.160~161参照

Windows XP/Vista/7/8 対応

プログラムの機能と特長

■大規模なデータ

作成データ規模に制限をがなく、100km以上に亘る大規模データの作成が可能。地形領域の追加が可能。50mメッシュDEMデータを標準で搭載。(測量成果使用承認書: 国地業使発第613号)。

■マルチリアリティ

複数の案を比較するための機能。VR空間にあるものを別の状態(リアリティ)に切替。交差点における複数路面マーキングの案、道路線形の比較、宅地造成の比較やその他の計画検討に便利な機能。

■マルチユーザ編集

複数のユーザで並行して1つのプロジェクト編集が可能。ソース管理サーバを使用してデータを共有し、保存と同期の管理を行います。管理サーバでは、編集履歴の管理も可能。

■交通シミュレーション機能

交通リソースをプロジェクト内で入出力可能なため、データ作成のコスト・時間が削減可能。

■ユーザインターフェース

マルチモーダル画面: 編集作業と3Dビューでの確認作業を同時に行えます。

レイヤ: レイヤ機能を搭載し、データにある各要素をレイヤ毎に表示可能です。

■UC-win/Roadデータ変換

UC-win/Roadの構成とは大きく異なるため、UC-win/Roadのデータファイルの読み込みはできませんが、UC-win/RoadとVR-Studio®両方のアプリケーションを立ち上げ、UC-win/Roadで開いているデータを直接メモリ上でVR-Studio®に転送します。



■東京、中目黒周辺モデル平面図入力画面およびモデル3DVR画面



■東京→富士山上空→名古屋都心部までフライスルーをストレスなく実行